



Nagoya Noh Theater

名古屋能楽堂

正月特別公演

天下泰平・五穀豊穡を祈禱する、恒例の「翁」
都へ宝さがしに出かけた太郎冠者がみつけたものとは？「宝の槌」
桜みちる吉野山で、天女たちがみせる五節の舞「吉野天人」
新年にふさわしい明るい番組をお届けします。



写真上 能「翁」撮影：杉浦賢次
写真下 能「吉野天人」提供：久田家

令和7年

1月3日(金) 13:00開演
(12:00開場)

指定席 5,200円
自由席(一般) 4,200円
自由席(学生) 2,000円

※能「翁」開演後30分程は入退場できませんのでご注意ください。

10月16日(水)より
前売券発売

能

狂言

能

「翁」(観世流)
おきな

翁 山階彌右衛門

千歳 久田勘吉郎

三番叟 井上 蒼大

「宝の槌」(和泉流)
たから

シテ 野村又三郎

「吉野天人」(観世流)
よしのてんにん

シテ 久田三津子
天人揃

主催



名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]



能楽協会 名古屋支部



※能「翁」開演後30分程は入退場できませんのでご注意ください。

能
翁（観世流）

翁	山階彌石衛門
千歳	久田勘吉郎
三番叟	井上 蒼大
面箱持	野村 信朗
笛	竹市 学
脇鼓	福井 聡介
小鼓頭取	後藤嘉津幸
脇鼓	船戸 昭弘
大鼓	河村裕一郎
後見	吉沢 旭
下川 宜長	

狂言後見

伊藤 裕貴	林本 大
本田 勲	上田 公威
松山 幸親	山中 雅志

休憩二十分

狂言
宝の槌（和泉流）

シテ 太郎冠者	野村又三郎
アド 主	野口 隆行
アド 素破	松田 高義

後見 藤波 徹

【イヤホン・ガイド】

◆能「翁」

日本語／三苦 佳子（愛知産業大学短期大学非常勤講師）
英語／藤江さおり（通訳ガイド）

◆能「吉野天人」

日本語／大山 範子（神戸女子大学古典芸能研究センター非常勤研究員）
英語／藤江さおり（通訳ガイド）能
吉野天人（観世流）

前シテ 里女	久田三津子
後シテ 天人	梅若 紀佳
ツレ 天人	吉沢 旭
ワキ 都人	瀬戸 洋子
ワキ 都人	村井 邦子
ワキ 同行者	飯富 雅介
ワキ 同行者	橋本 宰
ワキ 同行者	相元 正樹
アイ 吉野の里人	伊藤 泰

小鼓

大鼓

後見

伊藤 裕貴	松山 幸親
本田 勲	山中 雅志
久田勘吉郎	林本 大

（午後四時頃終了予定）

●止むを得ず曲目、出演者等が変更となる場合があります。

●上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は事前に許可を受けた方以外はご遠慮ください。

◆能解説「翁」（おきな）

新春、切火で清められた舞台に、潔斎をすませた演者が、面箱・翁・千歳・三番叟と続いて全員が登場する。「切火」とは、この場合、幕際から火打石で火を飛ばすこと。後見の役割。清新の気が漲る。

翁は狩衣・指貫・面箱・千歳・三番叟は侍烏帽子に直垂・囃子・地謡などは侍烏帽子に素襦を着る。

「翁」の舞は三部から成り立っていて、最初の千歳は「鳴るは滝の水」と謡い出し、若々しく颯爽とした舞。次に翁の面を舞台上でつけたシテは祈禱的な意味合いを持つ重厚な舞を舞う。その中で、角・脇座前・中央で三回ずつ拍子を踏む。これを「天地人の拍子」と称する。翁と千歳の退場後、三番叟の賑やかな舞となる。はじめの部分を「搦之段」、黒式尉の面をつけ、鈴を持った後半部の舞を「鈴之段」と称する。天下泰平、国土安穩を祈る儀式能。

新年の翁。それはさわやかな日本の新春。

◆狂言解説「宝の槌」（たからのつち）

《目の前に現奇特のあるお宝》即ち不思議な現象の現れる宝を品評する至比へが世間では流行っています。主人は召使（太郎冠者）に、都でそのようなお宝を探し求めてくるよう命じます。

召使が方々を尋ね歩いていると、都の素破詐欺師が近づいてその首、鎖西八郎為朝が鬼ヶ島（蓬萊島）に於いて鬼と勝負して勝ち取った戦利品のうち、不思議な御利益のある槌だとして云々、言葉巧みに売り付けます。

家来の失敗を主眼とした演目で、召使が素破（詐欺師）に偽物売りつけられるという展開は、狂言「末廣かり」などにも似ており類曲には「宝の笠」があります。

新春を寿ぐような平和な世の中であるがその一端として、ほのぼのの感が得られる作品です。（井上松次郎）

◆能解説「吉野天人」（よしのてんにん）

都の者が、春になつたので吉野の桜を見ようと、仲間と共に出かけます。

吉野山に着くと、見事な桜の景色が広がっていました。さらに奥へ入っていくと一人の女性が現れます。その女性は高貴な姿で、一人山奥に居ることを男は不思議に思い、尋ねると「私はこの辺りに住む者で、花を友として暮らしているのです」と答え、都の男と共に花を眺めます。

女性は日が暮れても帰ろうとしないので、いよいよ不思議な女性だと思つて、実はその女性は天人で、花に心引かれたこの吉野の山に來たのでした。女性は都の男たちに「古の五節の舞（こせつのまい）をお見せしましょう。」と言ひ残して姿を消しました。

やがて夜になり、何処からともなく音楽が聞こえ、辺りには良い香りが漂います。

するとそこへ天人が現われ、桜の花に戯れ、舞を舞いますが、花の雲に乗って何処かへ消えていきました。

小唄の「天人揃」では、後半になると女性が天女へと姿を変え、ツレの天女4人を引き連れて舞う、華やかな演出となります。（久田三津子）

正月特別公演事前学習講座
12月14日（土） 14:00～16:00

受講チケット500円

◆能「翁」・「吉野天人」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

※事前学習講座のチケットは、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金（税込み） * 前売券発売日 令和6年10月16日（水）

	指 定 Reserved	自 由 Non reserved	
		一般 Adult	学生 Student under 25 years old
前 売 Advance sale	5,200円	4,200円	2,000円

* 学生券は25歳以下を対象とします。* 未就学児のご入場はお断りいたします。

* チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

* 事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方（付添者1名含む）は400円引きです。（前売りのみ。学生券の割引はありません。）
（名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ、各割引の併用はできません。）

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂／TEL.052-231-0088

* 前売券発売日当日は、お電話が繋がりにくいことがあります。

名古屋市文化振興事業団チケットガイド／TEL.052-249-9387

（平日9:00～17:00／チケット郵送可）

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口＜土日祝日も営業＞でもお求めいただけます。

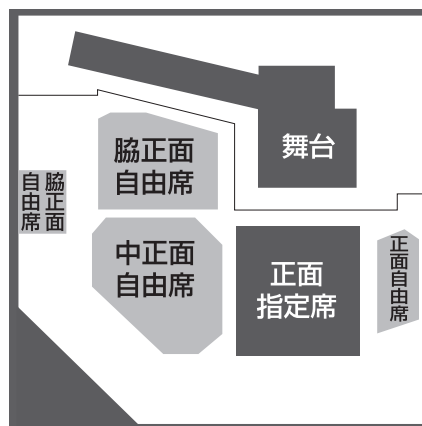
（工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。）

チケットぴあ／Pコード528-625

* 外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引します。（名古屋能楽堂取扱いのみ）

Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ／名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



公演についての最新の情報は
名古屋能楽堂ホームページを
ご覧ください。



https://www.bunka758.or.jp/facility/nougakudo/